



## ふくろう 合同会社

熊本県熊本市西区春日4丁目25-6 メゾン HIRATA 1F

業務執行社員 吉岡 直之 / 聞き手 野村 将希

### 社会のニーズを読み、人々の役に立つものを広めていく

——御社では、抗原検査の簡易キットを取り扱っているそうですね。

そうですね。もともとは肥料販売を手掛ける会社として父と一緒に立ち上げたのですが、新型コロナウイルスが感染拡大の兆しを見せてきたころから、いずれ検査のニーズが高まるだろうと思い、キットの輸入販売を始めました。ただ、少し早すぎたようで、最初は全然売れませんでしたね。売れ出したのはクラスターが出始めたところで、特に2020年8月は多くの問い合わせを受けました。

——先見性がありますね。どのよ

うな所に販売しているのでしよう。

医療機関や、自主検査を目的とする民間企業などに卸しています。当社が販売しているのは、粘膜を採取することにより、感染の有無を判定するというもの。産業医などの指導のもとで正しく使用すれば、医療機関に行かずとも検査が可能です。手軽かつ短時間で結果が出るので、民間企業でも取り入れやすいです。

——ニーズは高いでしょうね。

ただ、これで利益を得ようとは考えていません。本業の肥料販売もありますし、私自身『ふくろう不動

産』という会社の代表も務めているので、社会に役立てればそれでいいんです。近年、農業でもIT化が進んでいますが、いかに導入のハードルを下げられるかが重視されています。どれだけ優れた技術でも、普及しなければ意味がありません。私共も、一般の人が手が届くサービスに

こだわりたいと思っています。また、現在は他の企業と提携し、栽培から収穫、商品化までのコンサルティングも行っています。まだまだ新しい事業の構想もあるので、それらを実現し、会社を成長させたいですね。